

全国の高校1年・2年・3年生3,568名に聞く、高校生の生声レポート

～高校生が振り返る2013年と将来に関する調査～

高校生が選んだ2013年の漢字は、1位「苦」 2位「変」 3位「進」

英単語は、1位「change」 2位「hard」 3位「study」

目指す人物像は、社会に役立つソーシャル志向

「コミュニケーション能力」を磨くために「留学」にも積極的、約7割が留学を希望

大学受験予備校「東進ハイスクール」を運営する日本最大規模の民間教育企業である株式会社ナガセ(東京都武蔵野市、代表取締役社長 永瀬昭幸)は、東進ハイスクールに通う高校1年から3年までの現役高校生を対象に、「高校生が振り返る2013年と将来に関する調査」を実施いたしました。ナガセは未来の担い手を育成する責任ある教育機関として、高校生の意見や実態を調査し、高校生の生の声を継続的に発信してまいります。

[調査概要] ◆調査対象:東進ハイスクールに通う全国の高1・高2・高3の現役高校生3,568名(男子2,517名 女子1,051名)
◆調査期間:2013年12月3日(火)～5日(木) ◆調査方法:アンケート調査

高校生が振り返る2013年の漢字は、「苦」「変」「進」

1年生は「新」、2年生は「変」、3年生は「苦」。英単語は「change」「hard」「study」

今年の10大ニュースは、1位「東京オリンピック開催決定」2位「東進の講師ブーム」3位「東北楽天日本一」

今どきの高校生、なりたい人物像は社会に役立つソーシャル志向

専門性を活かし多くの人を幸せにしたい(30.3%) 思いやりで社会に尽くす人になりたい(26.2%)

一方、高校生ながらも、4人に1人(23.6%)は起業家志向

自分の資質、自信があるのは「豊かな感性」、課題は「語学力」

これから伸ばしたいのは「コミュニケーション能力」

内向き志向と思いきや、約7割(65.8%)は「留学」希望

3人に1人(35.2%)は「ビジネス英語」をマスターしたい

日本の将来は、まだ「グレー」

「グレー」(25.8%) 「白」(14.4%) 「青」(11.1%)

去年と比べて明るい色へのシフトが強まる 景気回復の兆しかも

高校生にとっての2013年は、「苦」「変」「進」の年

英単語は「change」「hard」「study」

2013年も残すところあと僅かですが、現役高校生3,568名に今年1年を振り返ってもらいました。

まず、漢字一文字で表現してもらおうと、総合第1位は受験生の苦しさを表す「苦」(185票)、第2位は変化を感じる「変」(135票)、第3位は邁進する「進」(98票)という結果になりました。

学年別に見ると、1年生は「新」(41票)生活の「忙」(27票)しさが、2年生は「変」(51票)化と前「進」(32票)が、3年生は「苦」しい(137票)「勉」め(75票)に「耐」え(67票)、「変」(67票)わる、がそれぞれ選ばれました[表1]。

[表1]2013年を表す漢字



	高校生全体 (n=3568)		高1生 (n=440)		高2生 (n=850)		高3生 (n=2278)	
1位	苦	185票	新	41票	変	51票	苦	137票
2位	変	135票	忙	27票	進	32票	勉	75票
3位	進	98票	変	17票	苦	31票	耐	67票
4位	忙	95票	苦		新	24票	変	
5位	悔	87票	楽	14票	新	20票	努	65票
6位	学	81票	悔		怠	18票	学	
7位	努		進	12票	楽	17票	悔	56票
8位	耐	疲	11票	悔	進		54票	
9位	勉	77票	成	9票	迷	14票	忙	44票
10位	新	72票	学		始		楽	42票

次に、2013年を英単語1語で表してもらおうと、1位は変化の「change」(172票)、2位は激しさ、厳しさ、難しさ、つらさなどの「hard」(156票)、3位は学ぶの「study」(122票)、4位は多忙の「busy」(119票)、5位は努力の「effort」(84票)の順となりました。1年生は「busy」(25票)、2年生は「change」(70票)、3年生は「hard」(118票)となりました[表2]。

[表2]2013年を表す英単語



	高校生全体 (n=3568)		高1生 (n=440)		高2生 (n=850)		高3生 (n=2278)	
1位	change	172票	busy	25票	change	70票	hard	118票
2位	hard	156票	change	25票	busy	28票	study	111票
3位	study	122票	new	19票	hard	24票	change	77票
4位	busy	119票	hard	14票	enjoy	22票	busy	66票
5位	effort	84票	grow	10票	start	17票	effort	64票
6位	enjoy	56票	happy	10票	effort	16票	fight	44票
7位	fight	55票	enjoy	9票	progress	15票	challenge	40票
8位	challenge		difficult		happy	14票	progress	34票
9位	progress	challenge	7票	love	13票	regret		
10位	happy	51票		start	new	12票	happy	27票

高校生が選ぶ2013年10大ニュース

「東京オリンピック開催決定」「東進講師ブーム」「東北楽天日本一」

流行語は「今でしょ!」「倍返し」「じえじえじえ」

高校生が選ぶ2013年の流行語は、1位「今でしょ!」(1066票)、2位「倍返し」(309票)、3位「じえじえじえ」(180票)の順となりました。2013新語・流行語大賞の年間大賞の「今でしょ!」は、東進の現代文のカリスマ講師・林修先生の決めゼリフ。東進生にとってはおなじみのゼリフが、今年は自慢の流行語として支持されたようで、2位とは桁違いの圧倒的な得票数を獲得し、学年別でもナンバー1を独占し圧勝です[表3]。




[表3]2013年を表す流行語

	高校生全体 (n=3568)	高1生 (n=440)	高2生 (n=850)	高3生 (n=2278)
 今でしょ! 1066票	1位 今でしょ! 1066票	1位 今でしょ! 125票	1位 今でしょ! 260票	1位 今でしょ! 681票
 倍返し 309票	2位 倍返し 309票	2位 倍返し 45票	2位 倍返し 80票	2位 倍返し 184票
 じえじえじえ 180票	3位 じえじえじえ 180票	3位 じえじえじえ 23票	3位 じえじえじえ 42票	3位 じえじえじえ 115票
	4位 それなっ 39票	4位 それなっ 10票	4位 ふなっしー 9票	4位 ふなっしー 22票
	5位 ふなっしー 38票	5位 ふなっしー 7票	5位 それなっ 9票	5位 受験 27票
	6位 おもてなし 33票	6位 おもてなし 4票	6位 おもてなし 7票	6位 おもてなし 22票
	7位 受験 27票	7位 バズドラ 3票	7位 アベノミクス 6票	7位 それなっ 20票
	8位 音読 17票	8位 駆逐してやる	8位 東進 5票	8位 音読 12票
	9位 東進	9位 だるい/東進 2票	9位 音読! 4票	9位 いいね!
	10位 いいね! 16票	10位 激おこぶんぶん丸	10位 やばい 3票	10位 やるしかない。 11票
				11位 勉強

2013年の10大ニュースをあげてもらうと、1位は「東京オリンピック開催決定」(50.3%)、2位は東進生らしく「東進ハイスクール講師ブーム」(34.7%)、3位は「東北楽天球団日本一」(27.3%)の順。奇しくも「東京」「東進」「東北」の3東がトップ3に選ばれました。5位にはセンター試験廃止論などの「大学入試改革」(22.3%)、6位にはツイッターでの非常識投稿など自分と同世代が引き起こした社会問題の「バクッター問題」(21.6%)が選ばれています。

「アベノミクス」(7位 16.3%)「消費税引き上げ」(8位 13.6%)などの経済問題から、「半沢直樹」(4位 22.9%)「あまちゃん」(9位 12.7%)の人気ドラマまで、高校生ながらも、広く社会の出来事に高い関心を寄せています[表4]。

[表4]2013年、高校生が選ぶ10大ニュース

 東京オリンピック開催決定 (50.3%)	 東進の講師ブーム (34.7%)	 東北楽天球団日本一 (27.3%)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	高校生全体(n=3568)	男子高生(n=2517)	女子高生(n=1051)	高1生(n=440)	高2生(n=850)	高3生(n=2278)
1位	東京オリンピック開催決定 50.3	東京オリンピック 47.8	東京オリンピック 56.2	東京オリンピック 50.2	東京オリンピック 50.0	東京オリンピック 50.4
2位	東進の講師ブーム 34.7	東進の講師ブーム 35.4	東進の講師ブーム 32.9	東進の講師ブーム 34.8	東進の講師ブーム 35.4	東進の講師ブーム 34.4
3位	東北楽天球団日本一 27.3	楽天球団日本一 30.8	大学入試改革 25.6	「半沢直樹」 25.0	「半沢直樹」 27.4	楽天球団日本一 28.7
4位	「半沢直樹」 22.9	「半沢直樹」 23.4	「半沢直樹」 21.5	楽天球団日本一 24.1	楽天球団日本一 25.2	大学入試改革 24.0
5位	大学入試改革 22.3	バクッター問題 22.1	バクッター問題 20.3	大学入試改革 19.5	バクッター問題 23.5	バクッター問題 21.2
6位	バクッター問題 21.6	大学入試改革 21.0	楽天球団日本一 18.9	バクッター問題 19.5	大学入試改革 19.4	「半沢直樹」 20.8
7位	アベノミクス 16.3	アベノミクス 17.4	消費税率引き上げ 17.6	アベノミクス 16.8	アベノミクス 14.0	アベノミクス 17.1
8位	消費税率引き上げ決定 13.6	「あまちゃん」 12.3	アベノミクス 13.7	「あまちゃん」 16.1	消費税率引き上げ 13.3	消費税率引き上げ 13.9
9位	「あまちゃん」 12.7	消費税率引き上げ 11.9	「あまちゃん」 13.7	消費税率引き上げ 12.3	「あまちゃん」 11.6	「あまちゃん」 12.5
10位	iPhone5s/5c発売 9.0	サッカーW杯出場 9.4	iPhone5s/5c発売 10.4	富士山世界遺産 9.3	iPhone5s/5c発売 10.7	サッカーW杯出場 8.8

●大学入試改革…センター試験廃止論など ●バクッター問題…Twitterでの非常識投稿 ●アベノミクス…安倍政権の経済政策

なりたい人物像は、社会に役立ちみんなを幸せにするソーシャルな私

高校生ながら、4人に1人は起業家志向

次に、自分の未来や将来の日本など、「これから」について聞いてみました。

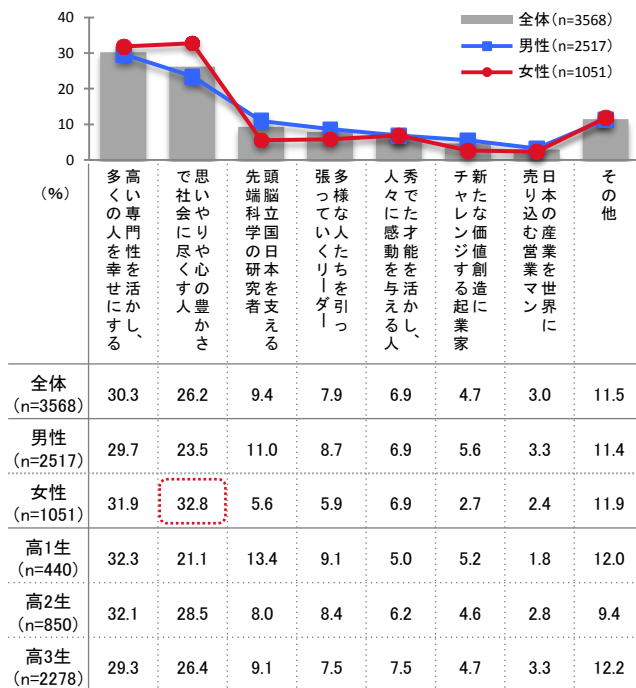
将来、自分がなりたい人物像は、「高い専門性（スキル、知識など）を活かし、多くの人を幸せにする」(30.3%)と「思いやりや心の豊かさで社会に尽くす人」(26.2%)がトップです。

今の高校生は、自分ひとりが勝ち組となるのではなく、みんなの幸せ・社会全体の向上を目指すソーシャルな人となることを目標としています。特に女子高生の「社会に尽くす」(32.8%)願望は、男子高生(23.5%)に比べ10ポイントも高くなっています[グラフ5]。

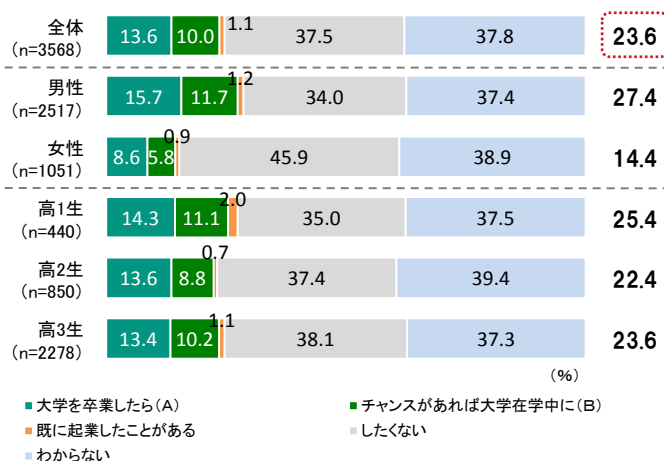
多くの人々の幸せを願い、社会に役立つ人を目指す高校生。彼らに起業したいかどうかを聞くと、まだ実感がわからないのか、「わからない」(37.8%)という答えが多数派です。

しかし、高校生の1割強が「大学を卒業したら起業したい」(13.6%)と考え、チャンスがあれば「大学在学中」(10.0%)に起業したい学生社長志向も1割と少なくなく、全体で23.6%と4人に1人が起業家を目指しています[グラフ6]。

[グラフ5]なりたい将来像



[グラフ6]起業意向



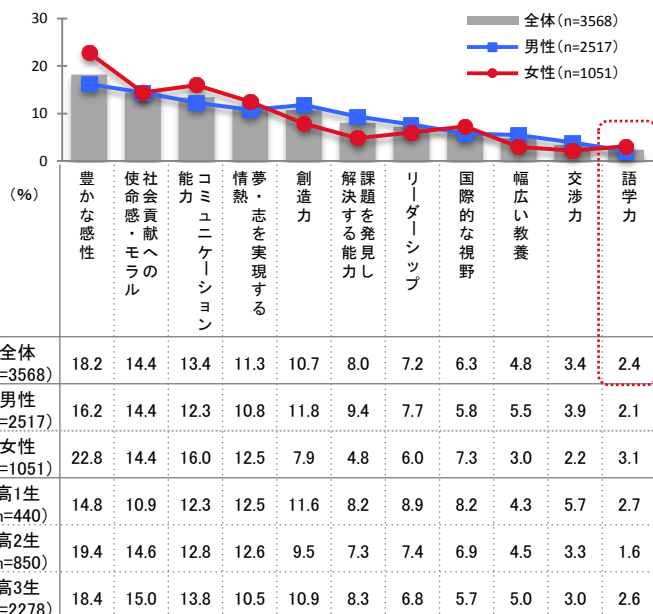
起業したい

自分の資質、自信があるのは「豊かな感性」、伸ばしたいのは「コミュニケーション能力」。取り組む重点課題は「語学力」

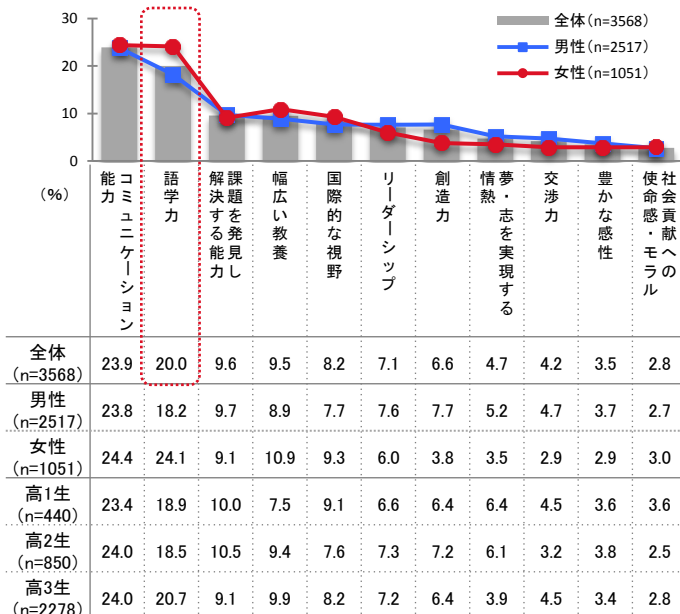
6割以上がビジネス英語以上の修得を希望、約7割(65.8%)が留学したい

日本の将来を担うことになる高校生。自分の資質について聞くと、現在自信があるのは、「豊かな感性」(18.2%)、「社会貢献への使命感・モラル」(14.4%)、「コミュニケーション能力」(13.4%)の順で、「語学力」に自信がある高校生は僅か2.4%と最下位です[グラフ7-1]。一方、これから伸ばしたいことは、「コミュニケーション能力」(23.9%)と「語学力」(20.0%)に絞られています[グラフ7-2]。語学力は、コミュニケーション能力を高めるために欠かせない重要な手段のひとつ。今は自信がない「語学力」を、今後、ぜひとも身につけたいと考えているようです。

[グラフ7-1] 現在、最も自信があること



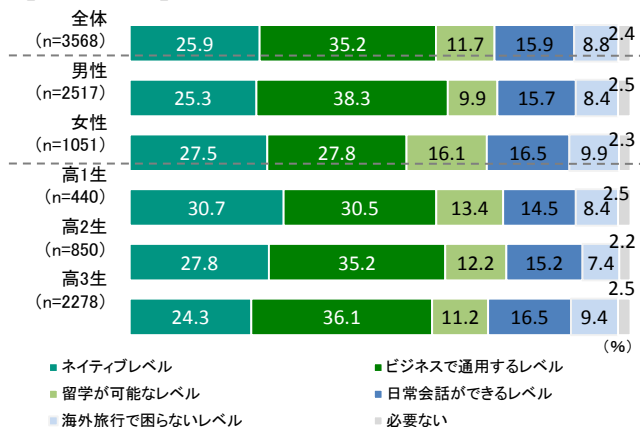
[グラフ7-2] これから伸ばしたいこと



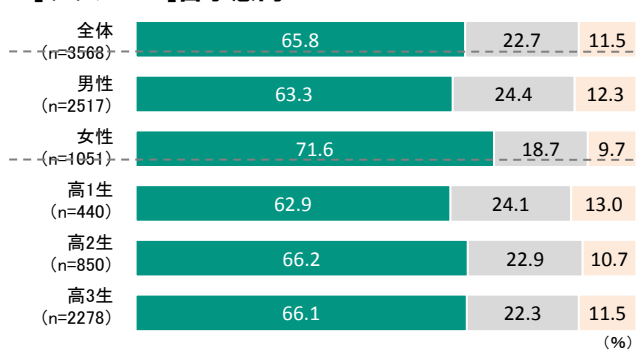
「語学力」が課題の高校生。英語をどの程度話せるようになりたいかと聞くと、3人に1人は「ビジネスで通用するレベル」(35.2%)、4人に1人は「ネイティブレベル」(25.9%)を目指しており、その目標はかなり高めです[グラフ8-1]。当然、留学意向も高く、約7割の高校生が「留学」(65.8%)を希望。男子高生(63.3%)より女子高生(71.6%)の方が留学志向が高くなっています[グラフ8-2]。

内向き志向と言われる今どきの高校生ですが、海外で学び、語学力を身につけ、コミュニケーション能力を高め、社会に役立つ人になりたいと、自分の未来をきちんと設計しているようです。

[グラフ8-1] 希望する英語の習得度



[グラフ8-2] 留学意向



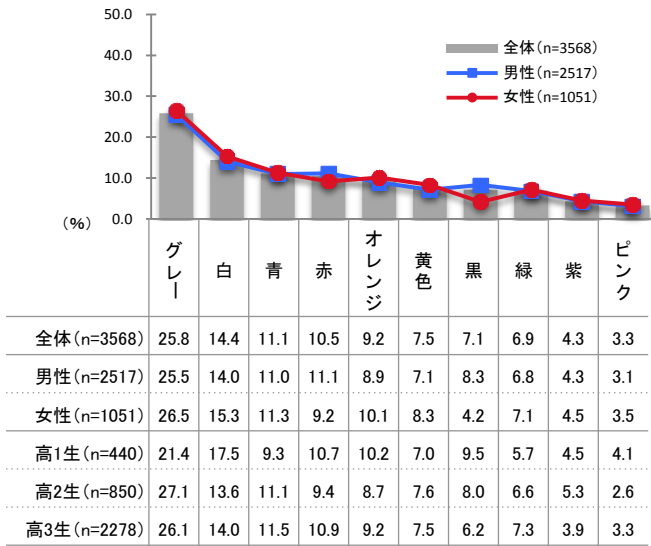
高校生が予想する日本の将来は、まだ「グレー」

去年に比べると「グレー」が減り、明るさ志向へシフト 景気回復の兆候かも?!

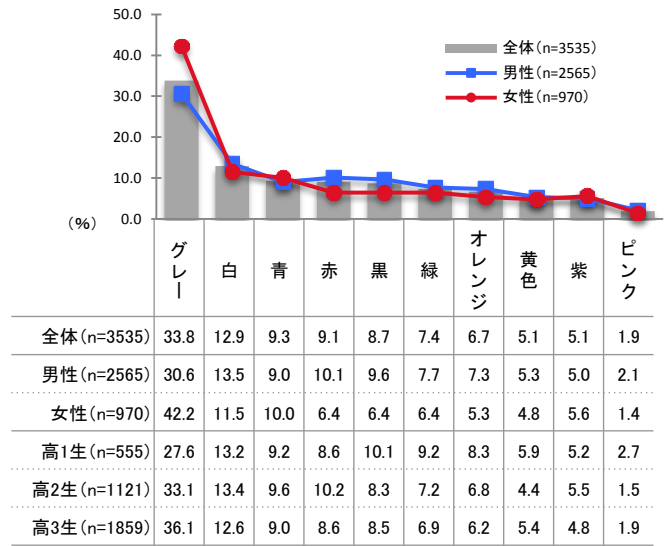
最後に日本の将来は何色かを聞くと、「グレー」(25.8%)という答えが最も多く、次いで「白」(14.4%)、「青」(11.1%)と寒色系の色が続き、バラ色の未来というより現実的に冷静に判断している様子が感じられます[グラフ9-1]。これを去年(2012年)の結果[グラフ9-2]と比べてみると、「グレー」(33.8%)、「白」(12.9%)、「青」(9.3%)と色の順位は同じですが、「グレー」が33.8%から25.8%へ8ポイントも低下しています。逆に、「緑」「青」は去年から+1.8ポイント、「赤」「ピンク」は去年から+1.4ポイントと、わずかながら明るい色にシフトしています。

景気の上向きが実現した2013年。高校生には、やや明るい未来予想図が描けているようです。

[グラフ9-1]日本の将来は何色?



[グラフ9-2]日本の将来は何色? (2012年)

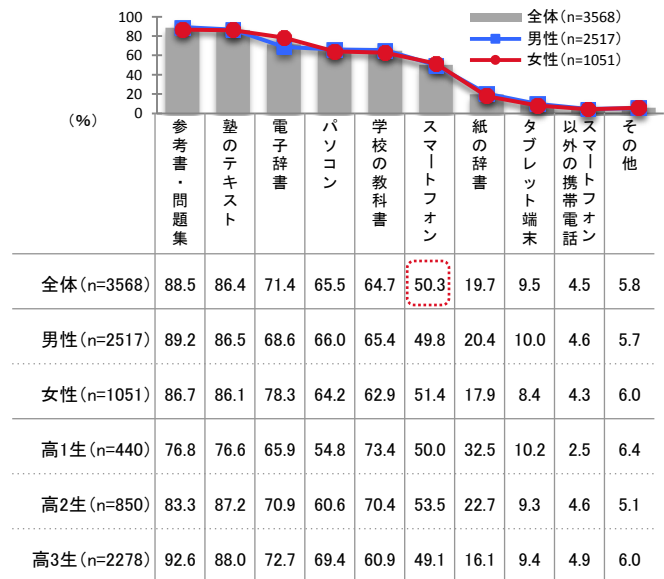


今どきの受験ライフは、アナログとデジタルのいいとこどり?!

2013年はスマートフォンやタブレットなど、わたしたちの生活のさらなるデジタル化が加速し普及した年でした。高校生の受験勉強にも変化が及んでいるようで、高校生の半数が受験勉強に「スマートフォン」(50.3%)を使用し、約1割が「タブレット端末」(9.5%)を利用しています。「パソコン」(65.5%)や「電子辞書」(71.4%)は、既に受験生の約7割が利用する定番アイテムとなっています。

いまだきの受験勉強は、これらのデジタルツールと、昔ながらの「参考書・問題集」(88.5%)や「塾のテキスト」(86.4%)などアナログツールとの併用が一般的になっているようです。

[グラフ10]受験勉強活用アイテム(複数回答)



■株式会社ナガセについて■

1976年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に92の直営校)や、全国47都道府県に約850校舎の東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と革新的な学習システムによって、東大現役合格600名(東大現役合格者の30.3%が東進生)など高い合格実績を実現し、現在では約12万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校です。中学受験の四谷大塚、イトマンスイミングスクールをグループ会社として、また、大学生・社会人を対象には東進ビジネススクールを開講。

また、2010年10月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」を開校。「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞(報道機関用)

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003東京都武蔵野市吉祥寺南町1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX 0422-44-9129

ホームページ www.toshin.com E-mail pub@toshin.com